

鉄斎美術館・

宝塚市立中央図書館聖光文庫共催企画展

富岡鉄斎の 画室と愛蔵品

令和4年3月24日（木）～5月8日（日）

開室時間：午前10時～午後5時 《入場無料》

休館日：水曜日、第二金曜日

会場：宝塚市立中央図書館聖光文庫

〔阪急宝塚線 清荒神駅前〕TEL 0797(84)6121

〒665-0836 宝塚市清荒神1丁目2番18号



【主な展示品】

名 称	筆者・著者他	制作・発行年	摘 要	所 蔵
【作品】				
善無畏・一行図	冷泉為恭筆	江戸時代	二曲一双(元襖) 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
小耶馬溪図巻	松田竹園筆	明治～大正時代	一巻 富岡鉄斎題跋 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
無量寿仏堂書	西園寺公望筆	大正 11 年(1922)	一面 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
【愛蔵品】				
鉄硯			一面 松浦武四郎贈 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
百寿墨	鳩居堂製	大正 12 年(1923)	一挺 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
印泥	西冷印社製	大正 8 年(1919)	二合 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
印矩		明治 40 年(1907)	一枚 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
彩具奇品(絵具箱)		明治～大正時代	一箱 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
乳鉢・乳棒		明治～大正時代	一組 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
補聴器・バスケット		明治～大正時代	一組 クルト・グラーゼル贈 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
【資料】				
富岡邸設計草案		大正時代	一枚 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
富岡邸姿図		大正時代	一枚 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
富岡邸配置図		大正時代	一枚 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
【図書】				
頼山陽水西荘図帖全	菅井梅閑画 頼山陽詩	弘化 3 年(1846)	一冊 大槻磐溪・頼子春跋 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
(写本)指頭画説	清 高秉著 富岡鉄斎写	明治 29 年(1896)	一冊 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
(写本)蝦夷草紙図絵	秦檜丸著 富岡鉄斎写	明治時代	一冊 富岡鉄斎旧蔵	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
米寿墨戯	富岡鉄斎画	大正 13 年(1924)	一冊 高島屋呉服店美術部発行	聖光文庫
無量寿仏堂印譜	富岡益太郎編	大正 15 年(1926)	五冊 寸紅堂発行	清荒神清澄寺 鉄斎美術館
贈君百扇	富岡鉄斎原画	昭和 54 年(1979)	一冊 小学館発行	聖光文庫

近代文人画の巨匠・富岡鉄斎(とみおかてっさい)(1836～1924)は、明治 14 年(1881)堺大鳥神社大宮司を辞して帰洛した翌年、京都室町一条薬屋町に居を構えました。御所に近く、小川流煎茶の祖小川可進(おがわかしん)の旧宅であることを気に入り、数え 89 歳で没するまでの後半生をこの地で過ごし、万余といわれる書画を制作しました。明治 44 年に書庫「賜楓書楼」、大正 11 年(1922)に鉄筋コンクリート 3 階建の書庫「魁星閣」を敷地内に落成し、鉄斎と長子謙蔵が蒐集した万巻の書物が納められました。そして同年の暮れには新たな画室兼居室「無量寿仏堂」を落成します。本展では、画室の襖絵であった冷泉為恭筆《善無畏・一行図》、西園寺公望が揮毫した室号の扁額《無量寿仏堂書》を中心に、鉄斎が愛用した文房具・画材などを紹介します。京都で生まれ育った文人鉄斎の暮らしが窺える愛蔵品をお楽しみください。



画室「無量寿仏堂」の鉄斎・春子夫妻 大正十一年



鉄斎美術館別館「史料館」の展覧会

「鉄斎—筆墨の妙—」(後期)
 会期: 2022 年 3 月 24 日(木)～5 月 3 日(火・祝)
 開館時間: 9 時 30 分～16 時 30 分
 休館日: 水曜日・展示替期間
 会場: 鉄斎美術館別館「史料館」※入館無料
 ※詳しくは鉄斎美術館ホームページをご覧ください